



生きものの“つぶやき”:

「ホンモノの目はどれだ？」

エッセイ:

雨上がりの畦道を歩いていると、クズの葉の上にツマグロオオヨコバイを見つけた。バナナ虫という愛称だけあって、小さくても艶のある黄緑色のボディはとても私の目を引いた。黒い斑点の中につぶらな目があり、始めは本物の目がどれかわからないほど、カモフラージュにひっかかった。ビーズのような雨粒を顔先につけて、喉を潤しているような姿がかわいく、思わずシャッターを押した。じーっと見つめていると、サササッと横歩きして葉の裏に隠れてしまったので、カラフルな見た目とはうらはらに、シャイな性格なんだなと感じた。(245 字)

生きものの紹介:

ツマグロオオヨコバイ：カメムシ目・ヨコバイ亜目・オオヨコバイ科。体長は 13mm 前後

で北海道を除く日本各地で見られる。翅の先が黒く、頭部の背中側に黒い斑点がある。ストロー状の口で植物の汁を吸って生活する。

撮影場所・日時：

佐賀県三瀬村 2025 年 9 月 13 日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：松尾 純怜
2. 高校・学年：博多女子高等学校・2 年

審査員からのコメント：

対象の虫の特徴を表したエッセイと、写真も良い構図で素敵です。

黄色と黒のコントラスト、水玉デザインの傑作ですね。

見事な写真です。ほんとうに、どれが目なのか？



生きものの“つぶやき”：

「目ヂカラすごいでしょ？」

エッセイ：

視線を感じてそちらを見ると、タテハモドキが葉の上で休んでいました。大きな目玉模様に圧倒されて一瞬ギョッとしましたが、よく見ると前翅と後翅で模様の色が違っており、目玉がキラッと光っているようにも見えました。翅を広げて静止している様子は、まるでご自慢の目玉模様を見てほしいとアピールしているみたいで、思わず食い入るように見つめてしまいました。天敵を驚かし、捕食されるのを防ぐこの目ヂカラトリックに、自然のメカニズムの巧妙さを感じたひとときでした。(221 字)

生きものの紹介：

タテハモドキ：チョウ目タテハチョウ科。インドやマレー半島、中国から日本まで分布。オレンジ色を基調とした翅の表面に大小2つの目玉模様がある。翅を広げたまま留まる特性がある。

撮影場所・日時：

福岡市東区香椎照葉 アイランドシティ中央公園 2025 年 10 月 1 日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：松尾 純怜
2. 高校・学年：博多女子高等学校・2 年

審査員からのコメント：

新種のポケモンですか？可愛い表情に魅了されます。  
見事な写真と目ヂカラです。